

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 コベルプラスさいたま見沼教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0		
	②	職員の配置数は適切である	3	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	1	・対応する児童により、部屋のレイアウトや気になるところを保護するなどの工夫をしている。	・2階建て構造や階段のつくりは危険に感じることがある。滑り止めなどの対応を検討する必要がある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	1	・日々掃除を行い、環境設定に気を付けている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	0	・全体での共有、話し合いを頻繁に行っている。 ・各レッスンの振り返りを全体で行い改善に努めている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	2		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	2		・外部評価をしていないので、必要な場合、行っていく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	・事業所内での研修や外部での研修を定期的に行っている。	

					・全体で資料の読み合わせを行っている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	・保護者のニーズや課題を聞き取り、支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	・児童に合わせたものを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0		

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	・計画に沿った支援を毎回心がけている。 ・事前に打ち合わせなどを行い、計画に沿った支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1	・全体で打ち合わせを行い、立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	0	・集団療育を子供に合わせて計画している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	・事前に打ち合わせを行い、全体で確認を指定している。 ・事前打ち合わせを行い、動きの把握をしている。	

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	・毎回レッスン後にフィードバックを行い、振り返りや反省会を行っている。 ・反省会を行い、翌日に活かしていけるよう努めている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	・半年に一回は最低限行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	2		・機会がまだないので、会議があった際には積極的に参加をしていく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	・関係機関と連絡を取り合いながら支援を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	該当なし	該当なし		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	該当なし	該当なし		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2	・保育所等への連携を必要に応じて行っている。	・今後連携を図っていく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2		・開所して1年未満のため、今後連携を図っていく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	・市が主催する研修に積極的に参加するようにしている。 ・外部の研修に行き、教室内で内容を共有している。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	3		

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	3		
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのフィードバックへの時間などを使い、児童の状況を伝えている。 ・その日の様子を伝えたり、伺うことで次のレッスンに活かせるように努めている。 	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	3		
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0		
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に説明をし、同意を得たうえで支援を行っている。 	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から相談を受けた際には全体で話し合っている。 ・定期的ではないが保護者の様子をうかがいながらお話を聞いて支援について一緒に考えている。 	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルレッスン時に保護者同士で話しやすい環境設定をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時間帯によって顔を合わせない方もいるので、そのような買いがあるといいと思う。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談があった際には職員全体に共有をして、対応を検討している。 	

	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	・コミュトレのご案内は定期的に発信している。	
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0		
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0		
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2		
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	・職員間で周知をし、訓練などで、保護者と児童に伝えている。	
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	・定期的に訓練と振り返りを行っている。	
	㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0	・契約時に確認をしている。	
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	0		・該当者がいない。該当者が 出た際にはしっかりと対応を していく。
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0		
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	・全体で研修を行っている。	
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。